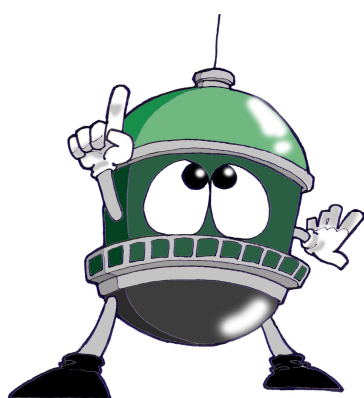


前橋市 水道事業・下水道事業

令和4年度
当初予算(案)の概要

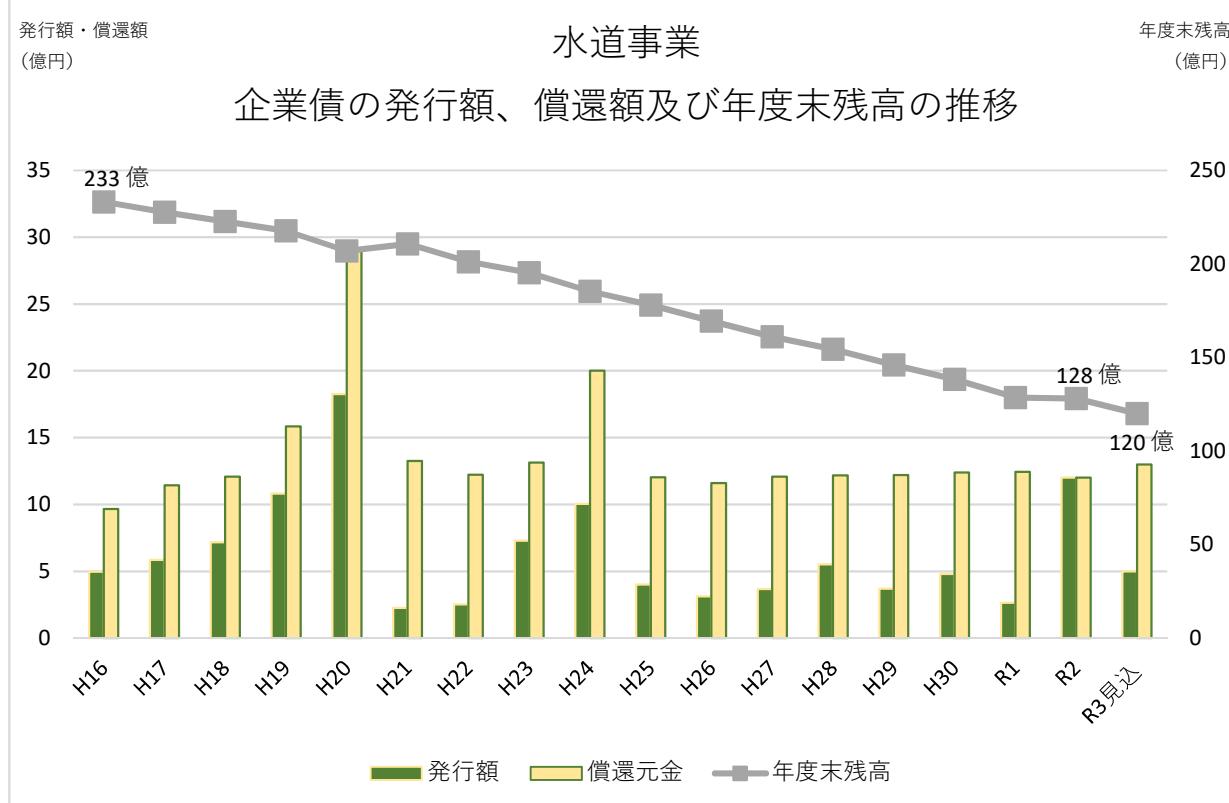
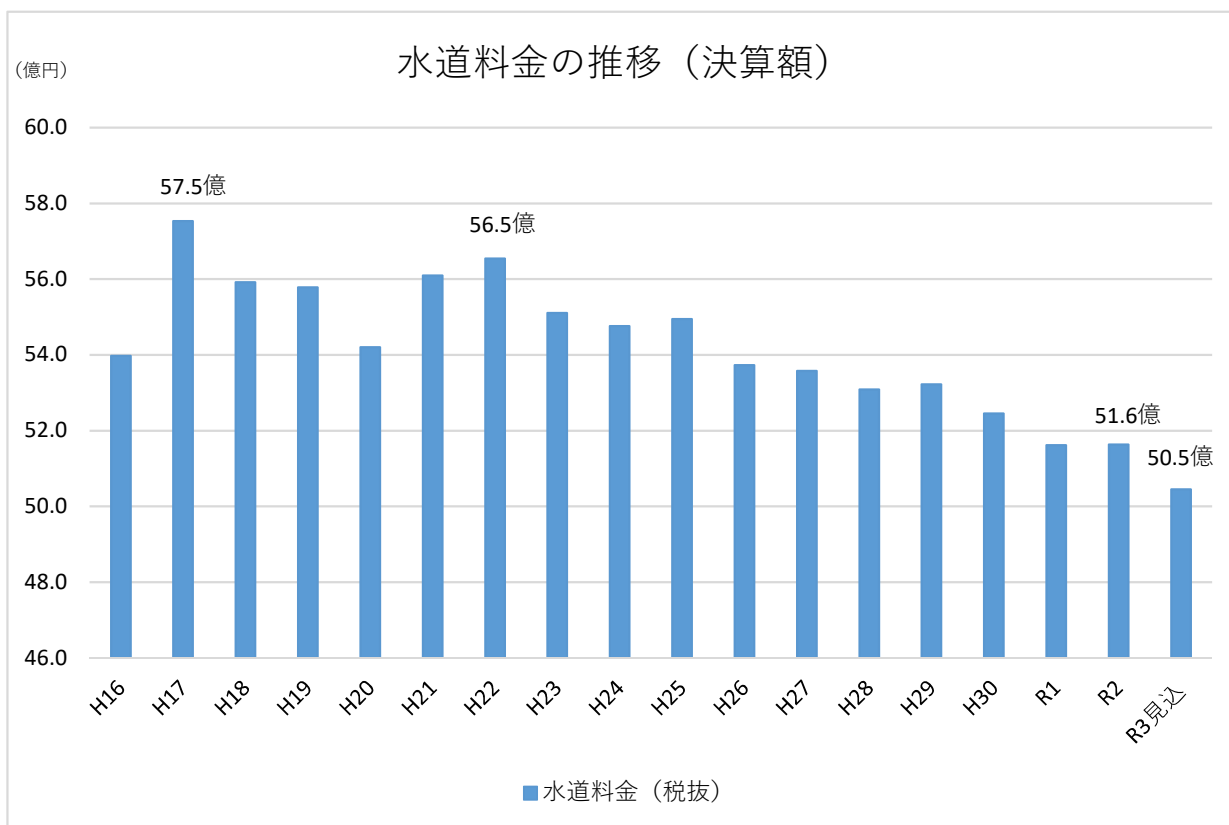
<目 次>

- ・水道料金と企業債残高の推移 … 1
- ・下水道使用料と企業債残高の推移 … 2
- ・水道事業会計の当初予算(案) … 3～4
- ・下水道事業会計の当初予算(案) … 5～6

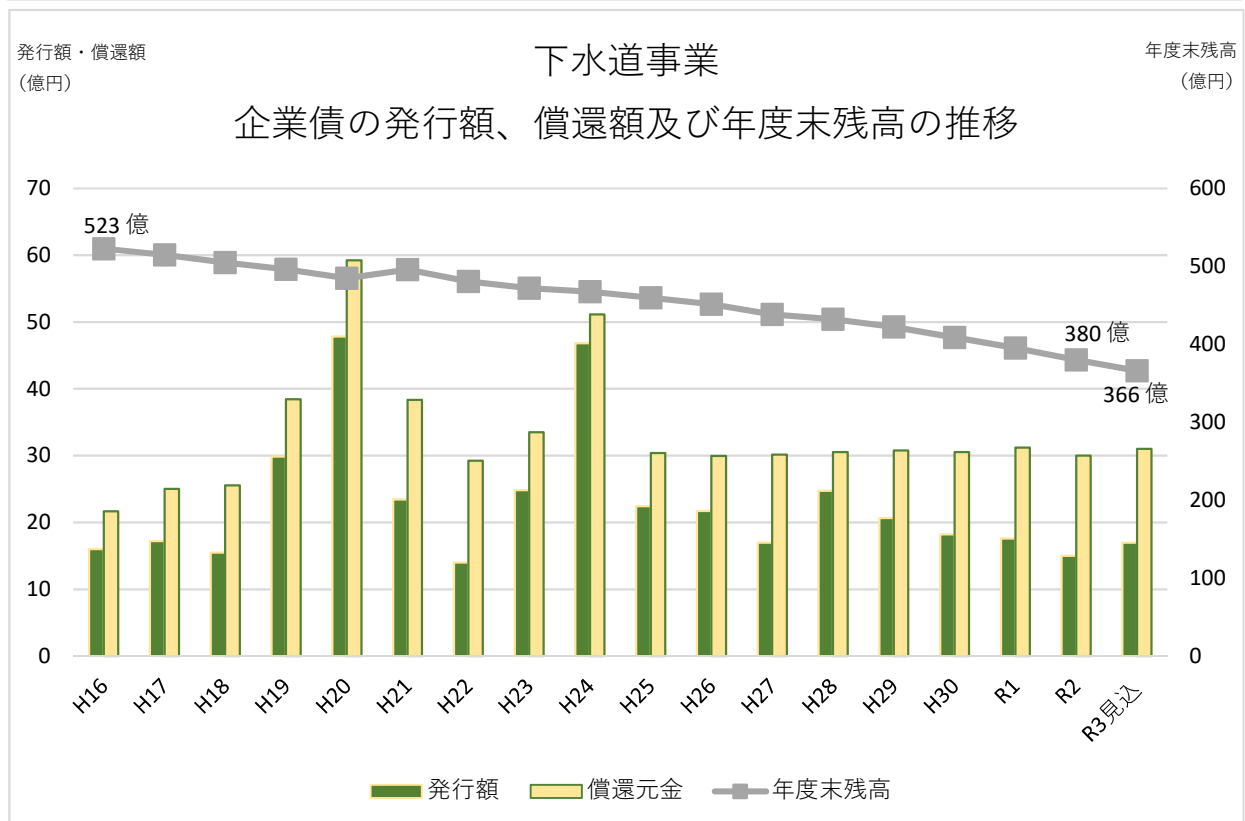
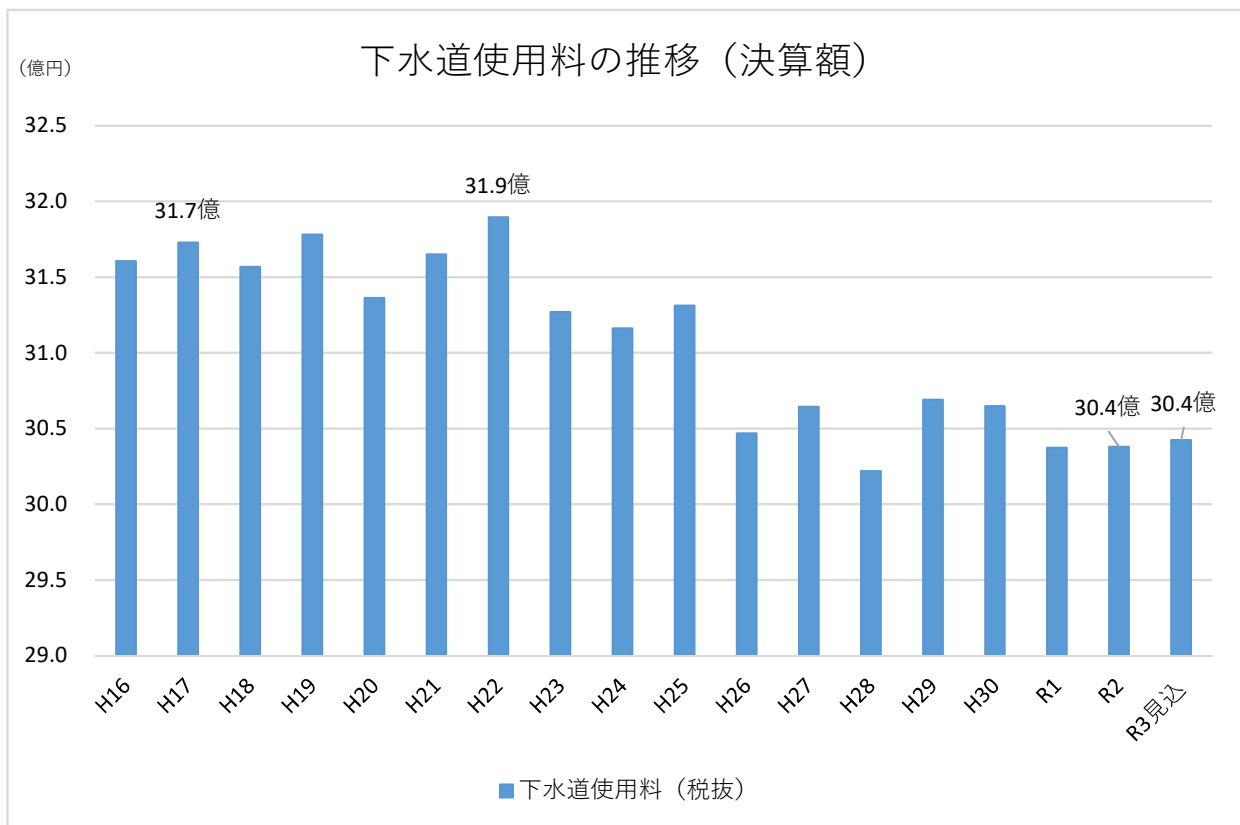


前橋市 水道局 経営企画課

R4.2.14運営審議会資料



平成16年度は大胡町、宮城村、粕川村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成17年度～平成24年度に利率の高い企業債の繰上償還や借換を実施した。
 平成21年度は富士見村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成25年度からは、簡易水道事業（湯之沢、三夜沢）を水道事業に統合した。



平成16年度は大胡町、宮城村、粕川村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成17年度～平成24年度に利率の高い企業債の繰上償還や借換を実施した。
 平成17年度から資本費平準化債の借入を実施している。
 平成21年度は富士見村と合併し、企業債を引き継いだ。

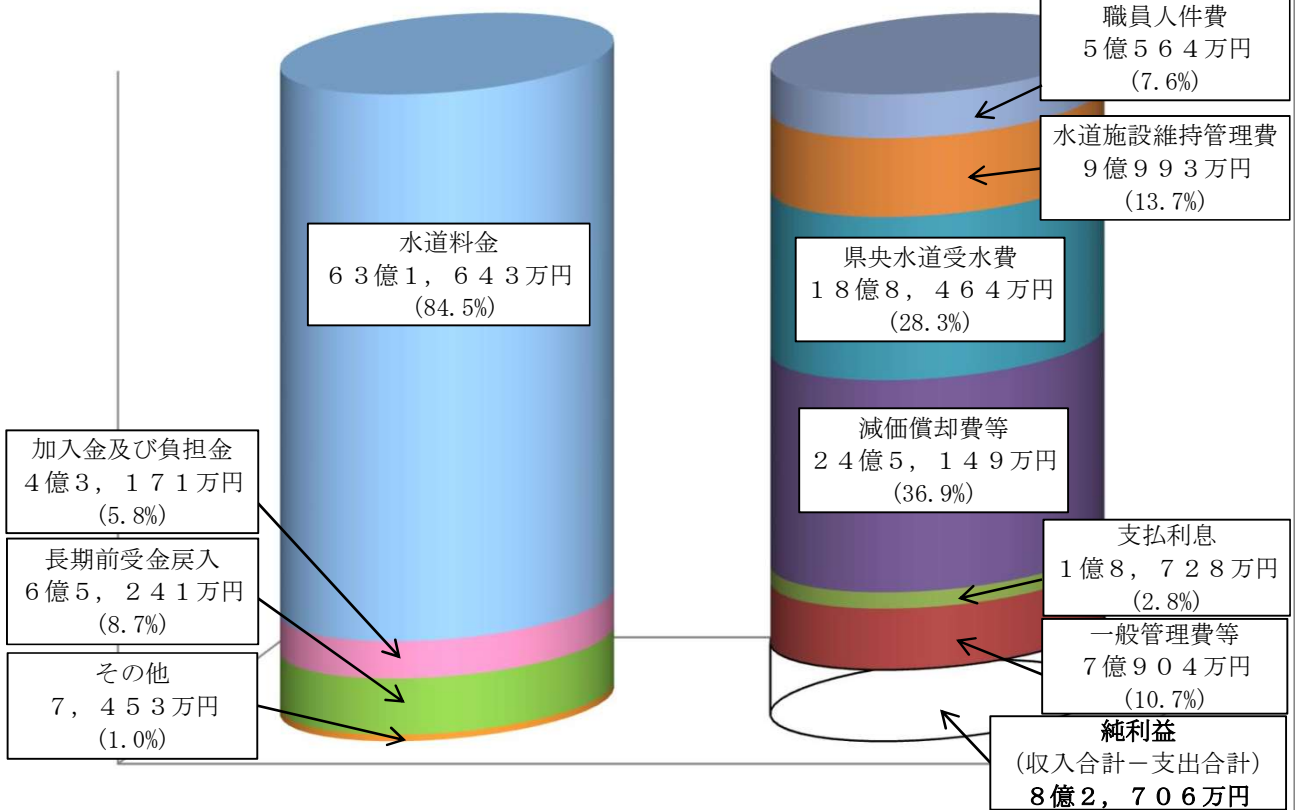
税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

()内は構成比

収入合計74億7,508万円

支出合計66億4,802万円

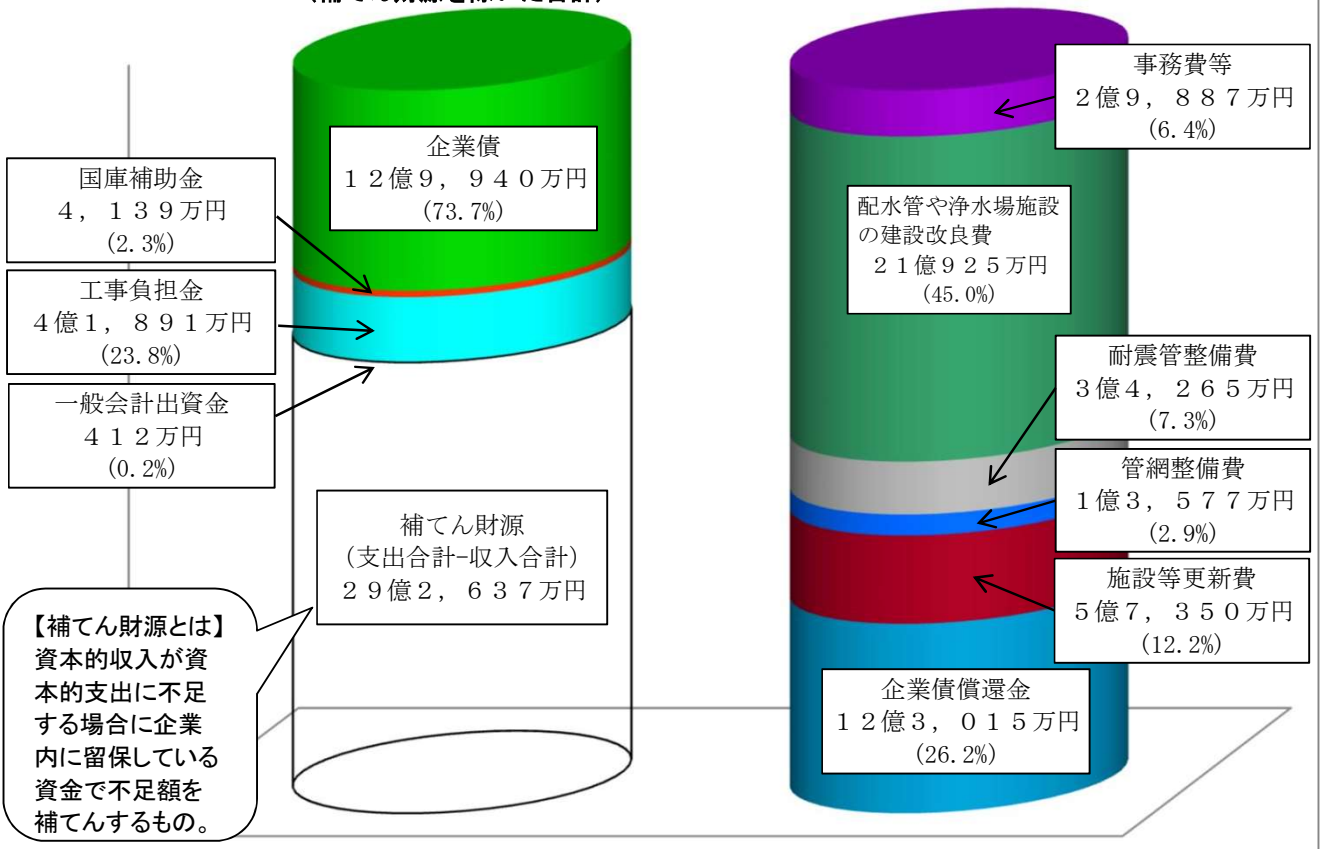


【資本的収支】・投資的な収支の状況

()内は構成比

収入合計17億6,382万円
(補てん財源を除いた合計)

支出合計46億9,019万円



水道事業会計の主な事業(令和4年度当初予算案)(税込)

重要給水施設管路耐震化事業(3億4,265万円)

地域防災計画等を参考に、災害時に特に重要と考えられる施設(災害拠点病院4箇所、災害対策本部など9箇所)を重要給水施設と位置づけ、災害時でも給水できるように供給ルートの耐震化を図ります。(事業計画はR1~R11年度からR1~R7年度へ圧縮)

【重要給水施設】①群馬県庁②前橋市役所③消防局中央消防署④水道局⑤大胡支所⑥宮城支所⑦粕川支所⑧富士見支所⑨グリーンドーム前橋⑩前橋赤十字病院⑪群馬大学病院⑫済生会病院⑬群馬中央病院
 ※R4年度予定箇所:②、③、⑥、⑦、⑧、⑩、⑫
 ※R3年度までの完了箇所:①、④、⑨、⑪(①、⑨はR3年度完了予定)



配水管の耐震化の様子

令和4年度より管路更新事業を増額し、当年度は管路更新率0.4%(H30~R2の平均)から0.6%(更新延長10km/年から15km/年)に引き上げます。

県央水道受水費(18億8,464万円)(県央第一:10億2,985万円、県央第二:8億5,479万円)

◎受水割合の推移

(単位:%)

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
自己水	48.4	48.5	46.2	45.1	44.3	44.1	43.9	43.6	44.3
県央水	51.6	51.5	53.8	54.9	55.7	55.9	56.1	56.4	55.7
内 県央第一	37.5	37.8	38.9	39.2	39.6	39.5	39.6	39.9	39.4
内 県央第二	14.1	13.7	14.9	15.7	16.1	16.4	16.5	16.5	16.3

※県央第一(単価:50円/m³(税抜))、県央第二(単価:100円/m³(税抜))

※県央第二はR2.4.1より単価(税抜):102円/m³⇒100円/m³

敷島浄水場更新整備事業(2億4,000万円)

平成27年度から敷島浄水場全体の更新について進めています。

令和2年度に新配水塔が完成し、令和4年度からは新配水池の更新工事に着手します。

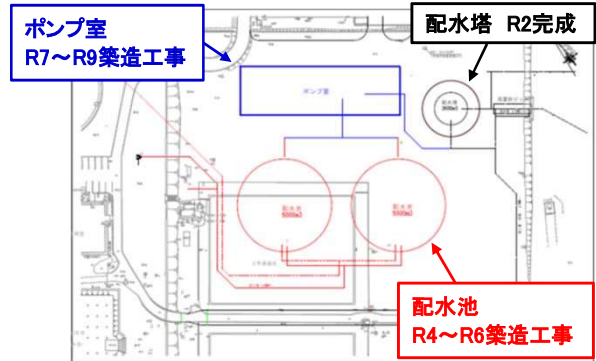
令和4年度から令和6年度に渡る3か年の事業になります。

【工事費】

R4:2億4,000万円

R5:12億円

R6:9億6,000万円



敷島浄水場の浄水施設配置案

施設等更新事業(5億7,350万円)

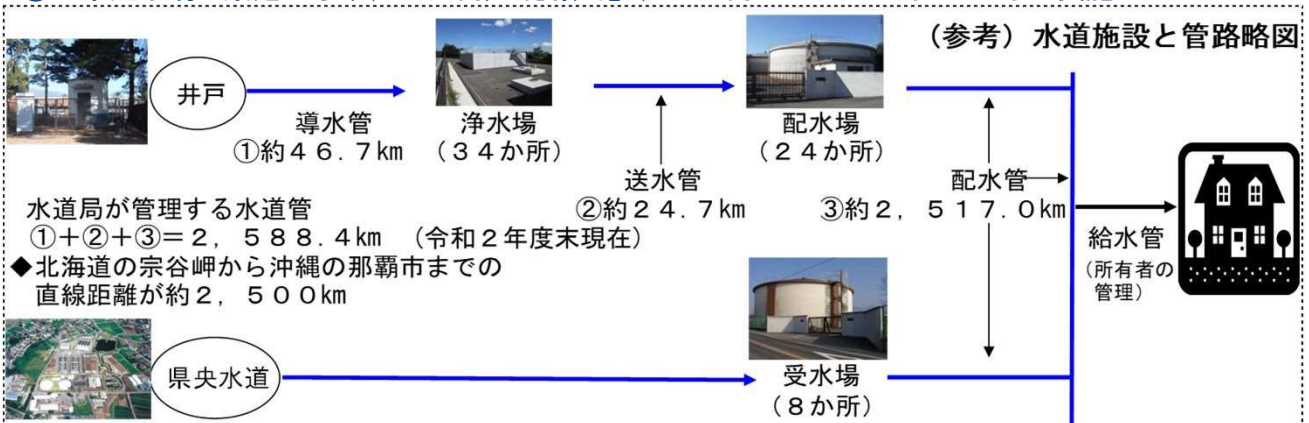
更新時期を迎える、浄水施設等の更新を順次進めます。

【主な更新事業】

①荻窪受水場の築造工事(2億2,000万円) 総額4億4,743万円 <R3~R5年の3か年で実施>

②中之沢浄水場の詳細設計(3,200万円) 総額4,371万円 <R3~R4の2か年で実施>

③上柴配水場の築造工事(5,000万円) 総額4億7,000万円 <R4~R6年の3か年で実施>



令和4年度 下水道事業会計当初予算の概要

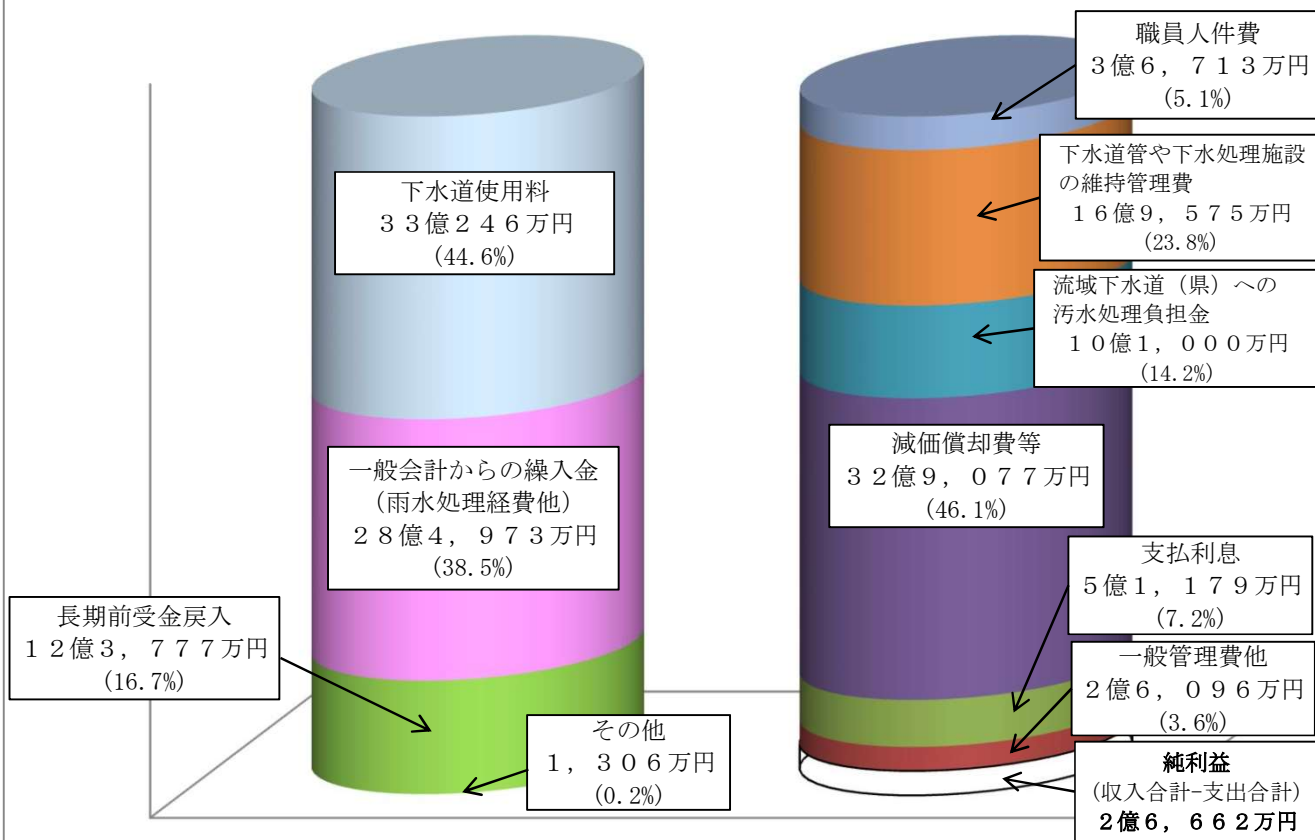
税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

()内は構成比

収入合計 74億302万円

支出合計 71億3,640万円

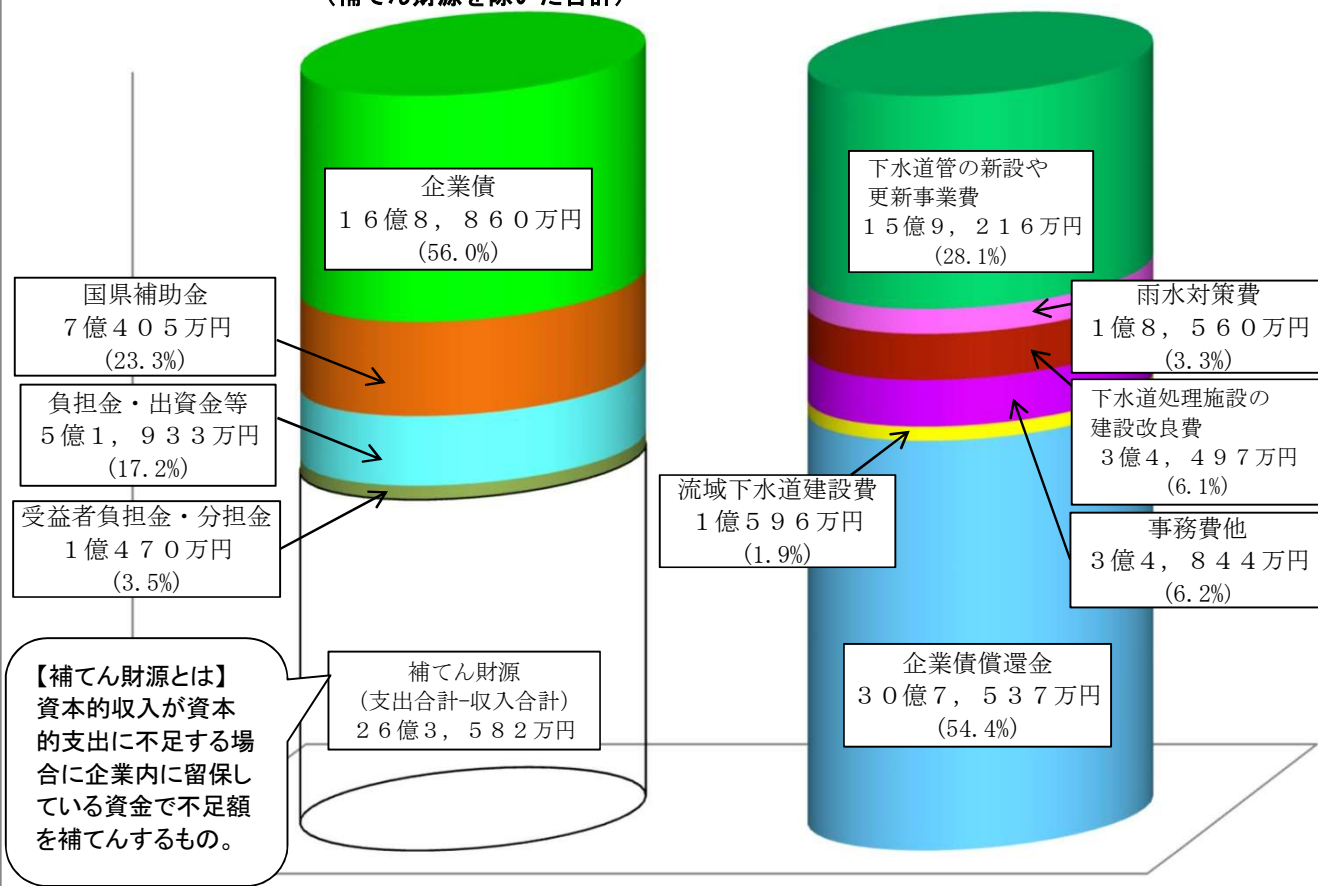


【資本的収支】・投資的な収支の状況

()内は構成比

収入合計 30億1,668万円
(補てん財源を除いた合計)

支出合計 56億5,250万円



【補てん財源とは】
資本的収入が資本的支出に不足する場合に企業内に留保している資金で不足額を補てんするもの。

下水道事業会計の主な事業(令和4年度当初予算案)(税込)

処理場・ポンプ場施設の維持管理(12億1,489万円)

水質浄化センター(六供町)は、昭和38年に運転を開始し、現在、処理面積1,171.6ha、処理能力は、84,200m³/日となっています。

また、赤城山大洞処理場は、大沼周辺の47haが処理面積で、昭和63年に運転を開始し処理能力は、1,000m³/日となっています。

なお、中継ポンプ場は市内に10か所設置されており、汚水等を処理場へ円滑に流下させるために重要な役割を担っています。

管渠新設事業(10億9,506万円)

流域関連公共下水道事業計画に基づき下水道幹線及び枝管の管渠布設を行い、快適な生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図ります。

- ・駒形町、田口町、富士見町 他
延長4,634m、面積18.88ha
- ・土地区画整理区域内(千代田町三丁目地区、駒形第一地区、文京町四丁目地区、元総社蒼海地区、松並木地区、富士見町小暮地区)の下水道管整備に伴う工事負担金

下水道ストックマネジメント計画事業(4億9,110万円)

ストックマネジメント計画に基づき、老朽管の改築・更新事業を進めます。

処理場建設事業(7,883万円)

下水道施設台帳データ更新業務及びストックマネジメント調査業務を実施するとともに、3系散気装置更新工事を行います。

水質浄化センター更新事業(2,750万円)

水質浄化センター更新に向けたPPP/PFI手法導入可能性調査業務を実施するとともに、支障施設解体に向けてのアスベスト含有事前調査やコミュニティクラブ移転・新築実施設計業務の費用を一般会計に支払います。

ポンプ場建設事業(2億3,860万円)

天川大島第一中継ポンプ場の電気設備更新工事を行うとともに、敷島汚水中継ポンプ場の受変電設備及び汚水ポンプの更新工事を行います。

◆下水道処理人口普及率

H30年度末	R1年度末	R2年度末	R3年度末見込	R4年度末見込
71.2%	71.4%	71.5%	71.6%	71.7%

◆R2年度末現在

	前橋市	群馬県	全国平均
下水道処理人口普及率	71.5%	55.1%	80.1%
汚水処理人口普及率※	94.3%	82.6%	92.1%

※汚水処理人口普及率：公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽、地域し尿を含めた普及率



天川大島第一中継ポンプ場



敷島汚水中継ポンプ場